

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	RAINBOW長久手中央クラブ		
○保護者評価実施期間	2025年1月1日		～ 2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年1月1日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者(利用児)からのお申し出について、対応の体制を整備し迅速かつ適切に対応している。	一旦は管理者に情報を集約して、対応方法を話し合ってから迅速に対応している。	今後も適切な対応で関係者の満足度を高めていく。
2	保護者(利用児)との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っている。	ゆっくり話す、分かりやすい言葉で話す、見通しがつくように配慮するなど、その子の特性に応じた話し方に気を配っている。	今後も利用児の特性に合った支援、コミュニケーションを心掛けていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや児童館との交流、地域の他の子供たちと活動する機会が少ないこと。	主に事業所内で活動することが多いため、交流する機会が少ないもの。	お出かけや外遊びの際には他の子供たちと接する機会を意識的に増やす。例えば公園遊びであれば、利用児に遊具の貸し借りを自身から言う練習をするなど、スモールステップから始めていきたい。
2	保護者との十分な交流機会の提供ができていないこと。	常日頃、保護者(同士)との交流の場を提供したいと考えているものの、そのタイミングや場所の問題・保護者のお考えについても種々なため、なかなか実現にいたっていないもの。	保護者の意思を第一優先にしながら、日頃抱えているお悩みや相談事を自由に意見交換できる場所を今後とも提供できるように努力していく。
3			